

浮腫・腫脹 周径測定 再評価シート

同じ測定点・同じ条件で測り、前回差・左右差・併記所見を合わせて再評価する

基本情報

氏名		ID		病棟・所属		測定日		測定者	
----	--	----	--	-------	--	-----	--	-----	--

測定条件（前回と異なる条件は必ず残す）

時間帯	午前 / 午後 / 時刻：	体位	仰臥位 / 座位 / 立位 / その他：	活動・安静条件	例：介入前、離床後、安静後など
圧迫条件	なし / 包帯 / 弾性着衣 / その他：	圧迫解除後	____分後 / 装着中 / 該当なし	測定側	右 / 左 / 両側
前回との条件差	なし / あり（）				

周径測定（cm）

部位	測定点・ランドマーク	基準距離	前回 右	今回 右	右 前回差	前回 左	今回 左	左 前回差	今回 左右差

併記所見（周径だけで原因を判断しない）

☐ 圧痕 ☐ 熱感 ☐ 発赤 ☐ 疼痛 ☐ 皮膚色調変化 ☐ 皮膚硬化 ☐ 呼吸症状 ☐ 体重変化 ☐ その他

所見メモ	
------	--

再評価・次回条件

今回の解釈	前回差・左右差・併記所見を合わせて記載
次回そろえる条件	時間帯・体位・活動/安静・圧迫条件・測定点など

記録のポイント：①測定点を固定 ②条件をできるだけそろえる ③数値は前回差・左右差・所見と合わせて読む

※すべての浮腫・測定部位に共通する「〇cm以上なら有意」という一律の基準はありません。急な変化や炎症・循環・呼吸に関わる所見がある場合は、周径値だけで判断せず適切に連携してください。

rehabilikunblog.com | 浮腫・腫脹の周径測定